

## 犬の花火に対する恐怖・・・花火恐怖症チェックリスト

### \* 花火に動じない犬

特に対応する必要はありません。しかし恐怖症は一生のうち、いつの時点でも発生することがあるということを忘れないでください。発病したら早めに手当てしてください。

### \* 花火に対してやや不安な素振りをする、緊張したりオロオロしたりする犬

対応：1と2、もし症状が続くようでしたらなら5も行ってください。

### \* 花火にイライラする、怖がるそぶり、呼吸が速くなり、パニックを起こす犬

対応：1，2，3そしてできれば4も行ってください。できるだけ早急に計画的に5も始めてください。

### \* 花火に非常にイライラする、深刻なパニック症状や苦痛を示す。

対応：1，2，3，4，6を行ってください。

## 1. D.A.P 拡散器をセットする、あるいはD.A.P 首輪を使用する、もしくは併用する

D.A.Pとは犬に安心感をもたらし、不安を軽減するフェロモンです。理想とすれば花火の騒音が起こる2週間前から拡散器か首輪、もしくは両方の使用を始めてください。拡散器は花火の時期が終わって1週間後までは常にスイッチを入れておいてください。D.A.P製品は受付で購入できます。首輪は1か月ごとに交換、拡散器は1か月ごとに詰め替えボトルを交換してください。

## 2. 犬が恐がっているときに飼主がどう対応するか

犬の怖がる素振りは無視してください。リラックスして楽しそうにふるまってください。同情してはいけません。活動的なゲームで犬の関心を引いたら効果的でしょう。でもしつこくするとか、無理強いをするのはいけません。花火に対して怒ってもいけません。犬はあなたの感情を感じ取ります。穏やかにしていきましょう。

## 3. 安全な避難場所を用意してあげましょう

怖がっている犬には騒音から逃れられる安全な隠れ場所が必要です。家の中央(外壁や窓から離れたところ)に小部屋を設けてあげましょう。通常は部屋の隅の重厚な家具の陰がいいでしょう。防音を施した室内用の犬小屋でもいいでしょう。例えばぬいぐるみのようなお気に入りの噛んで遊ぶおもちゃや、使い慣れた毛布を与えてあげてください。D.A.P 拡散器は避難場所のそばにセットしてください。

## 4. より安全な新製品の鎮静剤をつかった治療

それは鎮静化するのではなく、情緒的に穏やかにする薬です(獣医の処方による)。この鎮静剤は犬がいやな体験を忘れるのに役立ちます。

処方案内：この鎮静剤は最近3ヶ月以内に獣医の診察を受けた犬、もしくは最近1年以内に獣

医の診察を受け、かつ3ヶ月以内に看護師がチェックした犬が処方してもらうことができます。

## 5. 脱感作

花火の効果音CD「怖くなる音」を看護師の説明にしたがって使用することにより、計画的に犬を花火に対して鈍感になるようにしましょう。これは春早々か花火の2～4ヶ月前に行う必要があります。「怖くなる音」は花火恐怖症の症状が軽い場合に効果がありますので重症になってしまいう前に手当てをしましょう。重症の場合は行動療法も必要になるかもしれません。

## 6. 行動療法専門医にかかって一通り診察を受ける

専門医は音恐怖症の医学的原因（たとえば甲状腺機能障害のようなホルモン障害、抑うつ状態、耳の病気、弱視）を調べます。それから愛犬の総合的な情緒的状况を査定して行動療法を始めます。

## 注意事項

- できれば花火が始まる前においしい食事を与えてください。満腹になれば不安が緩和されます。
- 太鼓の音が全体的に織り交ざった音楽をかけてください。音は大きくなくて結構です。
- 厚いカーテンで花火の閃光を遮断してください。
- 手当てよりは予防が有効です。音恐怖症は深刻になる前に早い時期に治療しましょう。
- 単に興奮が過ぎるけど怖がっている様子はない、という犬以外は、ACP錠の使用は避けてください。ACP錠は恐怖を抑える薬ではありません。

著作権：動物・家畜健康センター ブラックバーン市デイジー通り 01254 53622

DH/CH/花火恐怖症 9/07 [www.vet-healthcentre.co.uk](http://www.vet-healthcentre.co.uk)